

Message from a Globalist ④



マックス・カク氏
在名古屋米国領事館首席領事

PROFILE
1976年にワシントンDCのボイス・オブ・アメリカ(VOA)の国際ラジオ部局にて米国政府勤務を開始。その後、1991年に米国国務省の外交官として入省し、北京、ポルト・ランス（ハイチ共和国）、大阪、ジャカルタ、ソウルなどの大使館や領事館で、報道官及びスポークスマン、また広報文化交流担当官などを歴任し、2008年8月5日より現職。

今年も光臨祭のメインイベント「国際理解講演会」では、世界を舞台に活躍されているグローバルリストから国際生へお話をいただきました。ここでは貴重なお話のハイライトを紹介します。

「Where are you from?」

私はしばしば「Where are you from?」とたずねられます。シンプルな質問ですが、私にとっては非常に答えづらい質問です。私は韓国で生まれ育ちましたが、1976年にアメリカのメリーランド大学で学びました。その後Voice of Americaで働きながら外交官を目指し、1991年には試験に合格して中国、ハイチ、アメリカ国内、日本、韓国、そして再び日本と勤務してきましたが、任地に赴く前に、私はその国の言語や文化や政治、歴史などを学んできたのです。したがって、だれかが私に「Where are you from?」とたずねたとき、「韓国生まれですが、アメリカ政府の外交官として働くために、30年以上前に韓国を離れた」と答えています。私の経歴に驚く人もしばしばいますが、アメリカは機会均等の国であり、民主主義の国です。誰にとってもチャンスがある国なのです。私のような生き方もアメリカでは可能です。アメリカは、私にチャンスを与えてくれました。そして、私は今日みなさんを通して、昔の私を見えています。

英語を学ぶ必要性を皆さんに強要することはできませんが、英語を流暢に話せるということは、皆さんの新たな可能性の扉を開く事につながることを知ってほしいと思います。皆さんのような若い段階で、生きた英語に触れる事ができるということは、大変有意義なことなのです。

THE FRONTIER TIMES Report

たくさんの人に聴いて欲しい!

吹奏楽部がFMラジオ局からオンエアー

12月22日(月)17時～
『5時ラジDELUX』
生出演決定!

名古屋国際主催の第4回定期演奏会の開催まで残りあとわずかになりました。日頃の練習の成果が発揮できるよう名古屋国際のアトリウムでは全員が練習に励んでいます。そんな部員の頑張りを新しいFMラジオ局(MID-FM761)がサポートしてくれます。



MID-FM761

MID-FM761 はリスナーのライフスタイルをセグメンテーションしたエンタテインメントプログラム。地元情報満載の日替わりバラエティ、たっぷり聴かせる懐かしいサウンド、地元アーティストを支援するインディーズプログラムなど、「MID-FM761」は、「楽しい」「面白い」「参加する」をコンセプトに大人のエンタテインメントラジオを創造します!

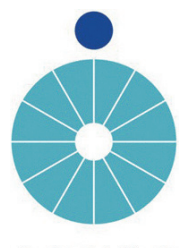
（切り離して演奏会当日にご持参ください）

NAGOYA INTERNATIONAL JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
WIND ORCHESTRA
第4回 定期演奏会

2008年12月28日(日)
12:30開場 / 13:00開演
場所 / しらかわホール
地下鉄(東山線・鶴舞線)「伏見駅」下車
5番出口を南へ150メートル

御招待券
THE FRONTIER TIMES

Pick up Feature



文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

事業のテーマ

「国際理解教育における
英語コミュニケーション能力の向上」

事業の概要

基礎的な英語コミュニケーション能力と、異人種・異宗教・異文化への理解と尊敬を基底とする国際教養や国際感覚を修得することを目的とし、国際理解教育に主眼をおいた学校行事および英語を母国語とする多国籍のネイティブファカルティによる英語コミュニケーションに主眼をおいた教科活動（英語科）を組み合わせた事業に取り組みます。



▲大学キャンパスでイングリッシュキャンプ

Hot!

Information | no.1 |

ドナルド財団への寄付

（ドナルド・マクドナルド・ハウスをサポート！）

今年の入学式は日本マクドナルドCEOの原田泳幸さんがゲストスピーカーとしていらっしゃいました。そして、新入生の国際生に国際人として活躍するための秘訣をお話してくださいました。式典後の原田さんとのお話の中で、ドナルド・マクドナルド・ハウスの存在を知った私たちは、感謝の意を込めてドナルド・マクドナルド財団に寄付をすることにしました。ドナルド・マクドナルド・ハウスをおさか・すいた（大阪府吹田市）は、2005年10月に国立循環器病センターの向かいに建設され、青山台の穏やかな環境の中で、心臓などの病気を治すために入院している子どもたちやその家族が安心して過ごせる「我が家のようにくつろげる第2の家」を目指したハウスです。名古屋国際の思いが少しでもハウスの運営に役立つことを願っています。



▲正面玄関を入ると寄付者名を寄せた感謝の樹とその隣に座るドナルドが迎えてくれます。



財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン www.dmhj.or.jp/

ジョージ校長
名古屋国際中学校



先日、文部科学省により本校のユニークな教育環境と英語教育における継続的な発展が評価され、名古屋国際中学校が「モデル校」としての取り組みを実施していると認められました。ここで読者の皆様にご報告できることを大変うれしく思います。私たちはこの評価を大変誇りに思い喜びとともに、これは本校が他に類を見ない学校であるというさらなる証であると信じております。

I am extremely pleased to announce to our readers that, a few weeks ago, the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) has named Nagoya International Junior High School as a "Prototype School of Tomorrow" in recognition of the unique educational environment that we have created and of the continuous improvement in our English-language program to which we have enthusiastically committed ourselves. We are very proud of and grateful for this recognition and believe that it constitutes further evidence that we are the only school of our kind.

Hot!

Information | no.2 |

国際生用アカデミックガウン完成!

（名古屋国際の卒業式が世界標準スタイルに進化する。）

卒業する国際生が式典で着用するガウンがついに完成しました。世界の主要国ではほとんどの卒業式にはアカデミックガウンが着用されますが、なぜガウンを着ているのでしょうか?それは「学問の前での平等」の象徴のためです。人種、民族、性といった生まれながらにして自分自身の意思とは無関係に決まってしまう差異、そういうものを超えて、高校や大学でどのような知識や技術を身につけたかを、ガウンの色に代えているとされています。国際生の標準色はネクタイの色（エンジとブルー）です。



▶製作会社から届いた出来立てのサンプルを一足先に試着

model / Yuki SANO

Thinking about the Future

[国際生OB OGから現役国際生へ]

Message to Students

GAP Year体験談 自分自身が精神的に強く

2007年度卒業生
名古屋商科大学 経営学部1年
伊東直樹君

私はGAP Yearというプログラムを知ってから参加するまでにはとても迷い、そして、本当に自分にできるか不安でした。実際に選ばれてからも、自信がなかっただけになぜ自分が受かったのかが分かりませんでした。しかし、メンバーも決まり自分の計画を立てるようになってからは、ヨーロッパをどのように見て回ろうとか、研究テーマを調べるためにはどの国を訪れると良いかなど、資料を集めだすと研修が楽しみになってきました。

このGAP Year期間中に7カ国の国を訪れることができ、ヨーロッパを一人で行動して初めて、言葉の壁にぶつかりました。これまでは海外に行っても必ず誰か助けてくれる人が近くにいましたが、GAP Yearでは自分しかいません。一人で旅することによって自分の未熟さに気がつき、もっと他言語が話せたら楽しみ方が変わっていただろうと痛感しました。それは、もっと積極的に現地の若者と交流し、広範囲に行動できたと今更ながら思ったからです。

このプログラムを通して海外に対しての恐怖心がなくなり、精神的にも強くなりました。GAP Yearをきっかけに、これからも様々なプログラムに参加し見聞を広めていきたいです。

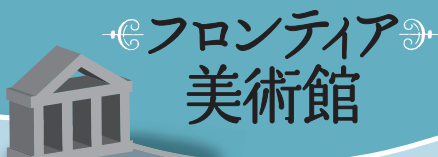


▲スペインの知人の家でその家の友人と



▶スイスのユースホステル支配人と

NAGOYA INTERNATIONAL JUNIOR HIGH SCHOOL MUSEUM



「飛躍・躍動・若さ・和」

こんにちは、フロンティア美術館長の鈴木悟（美術科教員）です。第1回目の今回は、私が大学院を出てすぐの時に制作し、現在は日進市スポーツセンターに設置してある作品を紹介します。コンクールの主催者側から提示された「飛躍」「躍動」「若さ」「和」というキーワードを基に様々なアイデアスケッチを経て生まれた作品が、写真の作品です。現在改めて自分の作品を目にするとき若干の恥ずかしさを感じますが、もしかしら自分の年齢よりも長く世に遺るかもしれない考えると、非常に幸運なことだと考えるでしょう。次回からは生徒たちの作品をピックアップしていきます。



Satoru SUZUKI

▲現在も設置されている日進市スポーツセンター前の作品

Great Dialogue from the Movies

ジョージ校長の映画名セリフ集

"Frankly, my dear, I don't give a damn."

（はっきり言ってね、おまえ、そんなこと俺の知ったことか）

今回のセリフは、最も有名なアメリカ映画の一つである「風と共に去りぬ」(内戦で破壊されたアトランタ市での内戦前後を舞台にしたメロドラマ)のものです。レット・バトラー(クラーク・ゲイブル)は、どんな欲で利己的な妻スカーレット・オハラ(ヴィヴィアン・リー)によりやく別れを告げたところでした。「あなたがいなくなったら私はどうしたらいいの?」と聞く彼女に、レットは上のセリフを返します。1939年にこの映画が初めて上映された時、多くの観客は、「damn」という(汚い)言葉が使われたことにショックを受けましたが、それでも客足が遠のくことはなく、その年最も人気のあった映画になっています。さらに10個のアカデミー賞を獲得し、その記録は20年近く破られることはありませんでした。米国映画協会は、「風と共に去りぬ」を歴代4位の大作映画としています。

His line appears in one of the most famous of all American films — "Gone with the Wind" — a melodrama set just before, during and after the Civil War in Atlanta, a city ravaged by the war. Rhett Butler (Clark Gable) has just left his grasping, selfish wife Scarlett O'Hara (Vivien Leigh). She asks what will become of her if Rhett disappears. He gives the reply above. In 1939, when this film was first shown in theaters, many people were shocked by the use of the word "damn". However, it did not drive away any audiences, which made it the most popular film of that year. The film went on to win ten Academy Awards, a record that stood for nearly twenty years. The American Film Institute has called "Gone with the Wind" the fourth best epic film.